

輸送に関するお問い合わせは、下記の窓口または WEB サイトまでお気軽にどうぞ。

日本貨物鉄道株式会社

本社 営業部 050-2017-4041
環境事業室 050-2017-4047
国際営業室 050-2017-4045
総合物流部 050-2017-4046

北海道支社 営業部 050-2017-4119
東北支社 営業部 050-2017-4129
関東支社 営業部 050-2017-4143
東海支社 営業部 050-2017-4016
関西支社 営業部 050-2017-4155
九州支社 営業部 050-2017-4171

支店・営業所の連絡先は
こちらをご覧ください。



公式ホームページ



ネットモーダルシフト説明会

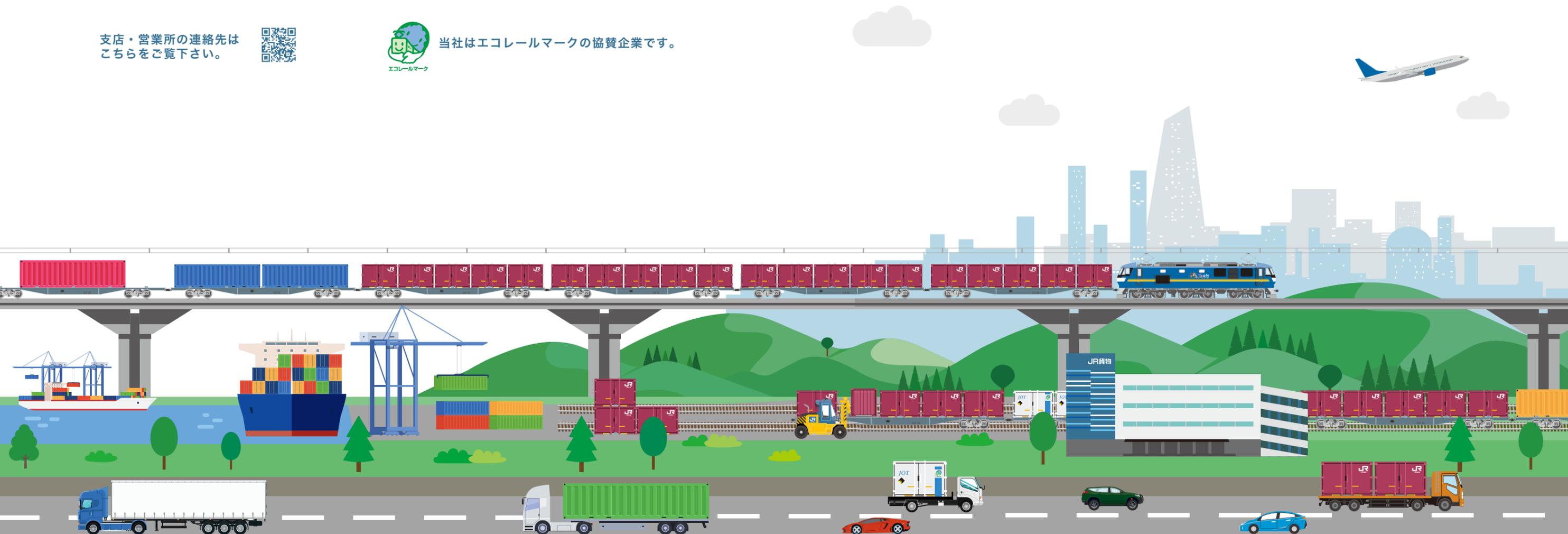


偏積防止 情報サイト



当社はエコレールマークの協賛企業です。

鉄道コンテナ輸送 サービスガイド

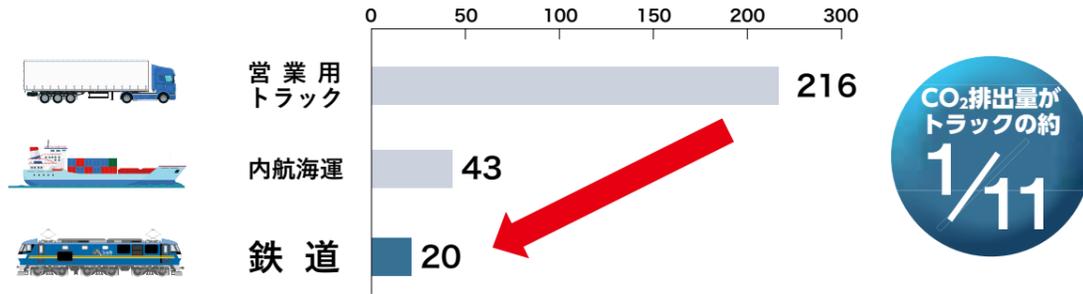


鉄道コンテナ輸送のメリット

SDGs やカーボンニュートラルへの対応、持続可能な物流の実現に
鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトが効果を発揮します。

環境性

鉄道コンテナ輸送は主な輸送モードの中でCO₂排出量が最も少なく、物流の環境負荷低減に大きな効果を発揮します。



■輸送機関別CO₂排出原単位：1トンの貨物を1km運ぶのに排出するCO₂の比較 (g-CO₂/トンキロ)
※2021年度実績 国土交通省資料による



エコレールマーク

貨物鉄道輸送を積極的に利用している企業が、商品パッケージやカタログにマークを表示することで、環境問題への取り組みを消費者にアピールできます。

経済性

鉄道コンテナ輸送は高い輸送効率により、トラック輸送と比較して長距離輸送になるほどコストメリットが見込めます。

2024年4月より、トラックドライバーの時間外労働の上限規制が始まります。これにより、特に500km前後の長距離トラック輸送は今まで通りの輸送が難しくなり、運賃が上昇する可能性があります。

トラックドライバー
1人当たりの
拘束時間が短くなる

2024年3月まで 年 3,516時間

2024年4月から 年 3,300時間(原則)

年間でマイナス
216時間

効率性

貨物列車は一度に最大650トン(26両編成)を輸送します。これは大型トラック(10トン)65台分に相当します。トラックドライバー不足が問題となるなか、鉄道は効率の良い輸送モードとして期待されています。



鉄道コンテナ輸送で主力の12ftコンテナは、大型トラック(10トン)に満たない貨物にも適しています。片道のみでのご利用も可能で、効率良く全国へ輸送できます。

積載率 50%



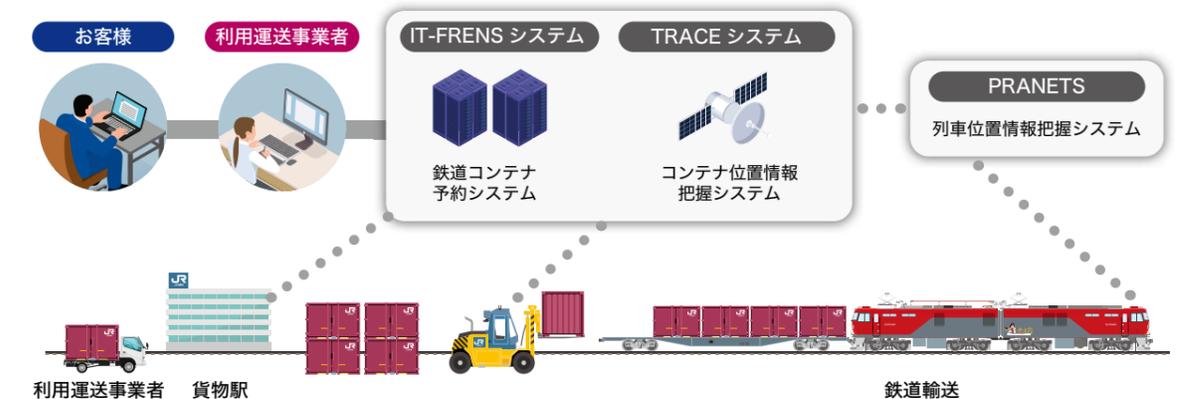
積載率 100%



安全性

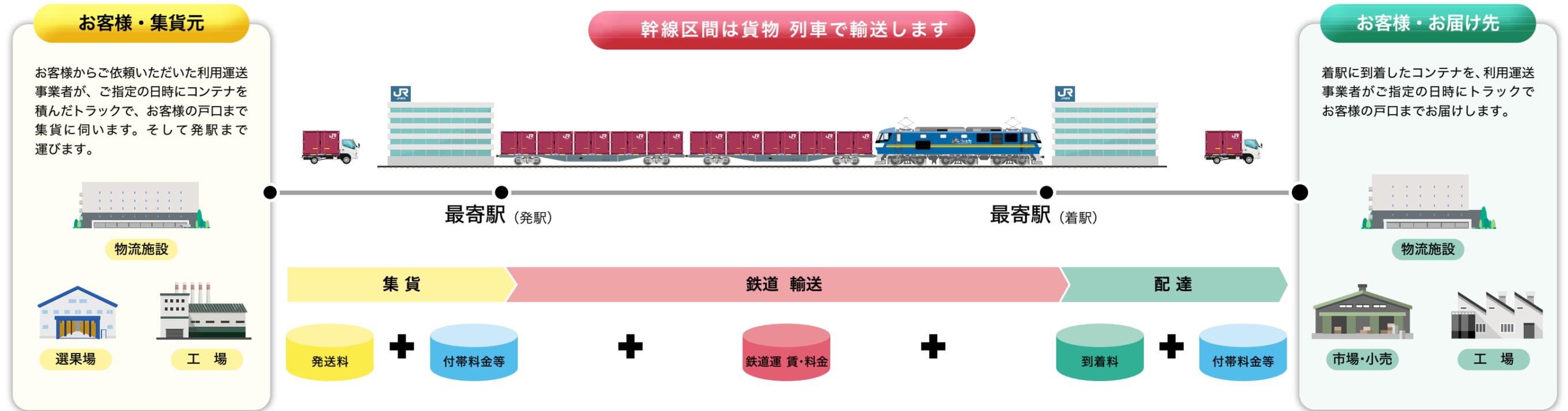
ダイヤ通りに運行する貨物列車は、高い定時性と安全性が持ち味で、計画的な輸送に最適です。

コンテナや列車の位置情報は、システムで把握しており、お客様にはホームページなどで輸送状況を提供しています。



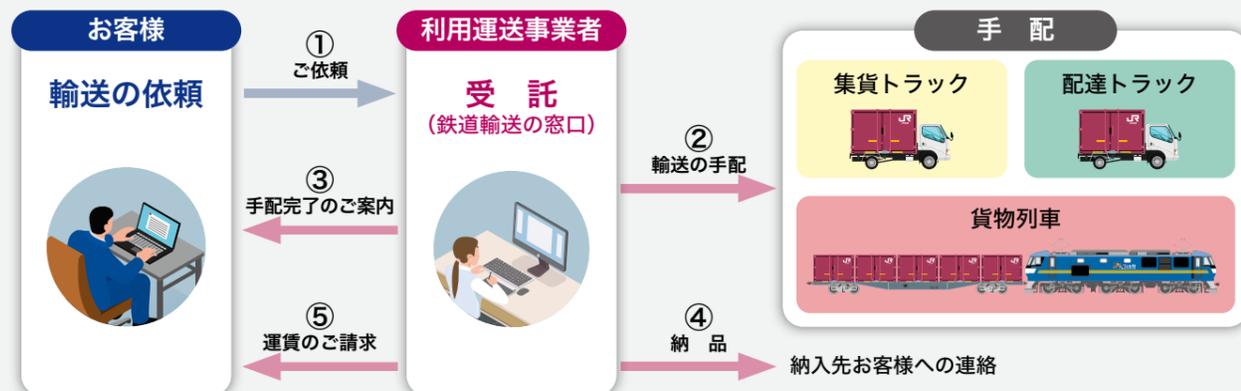
鉄道コンテナ輸送の仕組み

鉄道コンテナ輸送は幹線輸送を担う貨物列車と集貨・配達を担うトラックによるドア・ツー・ドアの複合一貫輸送サービスです。



ご利用方法

各貨物駅の利用運送事業者が窓口です。
電子メール・電話などでドア・ツー・ドア輸送の手配が可能です。
定期的なご利用はもちろん、スポットや片道利用も可能です。



料金の仕組み

鉄道コンテナ輸送のトータル料金は、オンレール部分(鉄道運賃・料金)とオフレール部分(集貨・配達にかかる発送料・到着料)を合算したものです。いずれの料金も、貨物の種類やコンテナの大きさ、輸送距離により決まります。また、付帯料金等は集貨・配達において養生・積込・取卸・待機・作業員などにかかる料金です。



主要都市間のリードタイム

幹線輸送部分のリードタイムです

発地	着地	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	岡山	広島	福岡
札幌			16時間	20時間	18時間	32時間	29時間	38時間	42時間	38時間
仙台	14時間			23時間	9時間	18時間	20時間	23時間	28時間	29時間
新潟	20時間	34時間			10時間	13時間	10時間	20時間	27時間	28時間
東京	19時間	7時間	7時間			19時間	10時間	14時間	13時間	19時間
名古屋	30時間	15時間	14時間	10時間			9時間	11時間	11時間	14時間
大阪	26時間	17時間	10時間	8時間	12時間			5時間	8時間	13時間
岡山	36時間	32時間	22時間	12時間	10時間	6時間			6時間	11時間
広島	39時間	29時間	31時間	15時間	14時間	8時間	6時間			8時間
福岡	44時間	31時間	24時間	19時間	16時間	16時間	9時間	8時間		

詳細は最寄りのJR貨物の支店・営業所にお問い合わせ下さい。

2023年4月現在

鉄道コンテナ輸送のネットワーク

全国およそ 8,000 km に及ぶ鉄道網と国内約 140 カ所のコンテナ取扱駅・オフレールステーション(ORS)によるネットワークで、全国各地へお客様の貨物を運びます。

凡例

- ★ トップリフター配置駅
 - その他のコンテナ取扱駅
 - ▲ オフレールステーション(ORS)・新営業所(新営)
トラック便により拠点駅とを結ぶコンテナ駅
 - 取扱いが専用線のための駅
 - ◆ その他のネットワーク
- ・トップリフター配置駅(★)は31ftコンテナの取扱いが可能です。ただし輸送ルートによっては取扱えない場合があります。
 ・(夕)は貨物ターミナル駅の略称です。



北海道支社

- 道北支店
北見営業所
 - 道東支店
釧路営業所
 - 道央支店
苫小牧営業所
 - 函館営業所
- 駅 北旭川・名寄 ORS
 - 駅 北見
 - 駅 帯広貨物
 - 駅 釧路貨物・中斜里 ORS
 - 駅 札幌(夕)・滝川・富良野・小樽築港 ORS
 - 駅 苫小牧貨物・東室蘭
 - 駅 函館貨物

東北支社

- 北東北支店
青森営業所
八戸営業所
秋田営業所
 - 南東北支店
石巻営業所
山形営業所
郡山営業所
- 駅 盛岡(夕)・水沢・六原 ORS
 - 駅 東青森・弘前(新営)
 - 駅 八戸貨物・北沼
 - 駅 秋田貨物・大館・羽後本荘 ORS・横手(新営)
 - 駅 仙台(夕)・岩沼・古川 ORS・仙台港・仙台北港
 - 駅 石巻港
 - 駅 山形 ORS
 - 駅 郡山(夕)・東福島 ORS・会津若松 ORS

関東支社

- 新潟支店
長岡営業所
 - 北関東支店
宇都宮営業所
高崎営業所
熊谷営業所
越谷営業所
 - 北東京支店
水戸営業所
 - 南東京支店
- 駅 新潟(夕)・中条 ORS・酒田港・黒井・焼島
 - 駅 南長岡・黒井・柏崎 ORS
 - 駅 新座(夕)・板橋(営)
 - 駅 宇都宮(夕)・矢板 ORS・羽生 ORS
 - 駅 倉賀野
 - 駅 熊谷(夕)・羽生 ORS
 - 駅 越谷(夕)・羽生 ORS
 - 駅 隅田川・板橋(営)・千葉貨物・京葉久保田
 - 駅 土浦・水戸 ORS・日立・小名浜・神栖・奥野谷浜
 - 駅 東京(夕)・板橋(営)・川崎貨物・千鳥町・末広町
横浜本牧・本牧埠頭
 - 駅 横浜羽沢・相模貨物・八王子 ORS・竜王
 - 駅 北長野
 - 駅 南松本・岡谷(新営)
- 神奈川営業所
長野営業所
松本営業所

東海支社

- 静岡支店
富士営業所
浜松営業所
 - 中京支店
- 駅 静岡貨物
 - 駅 富士・沼津
 - 駅 西浜松・豊橋 ORS
 - 駅 名古屋(夕)・小牧(営)・刈谷 ORS・多治見
名古屋南貨物・東港・半田埠頭・春日井
 - 駅 岐阜(夕)
 - 駅 四日市
- 岐阜営業所
四日市営業所

関西支社

- 金沢支店
富山営業所
高岡営業所
福井営業所
 - 近畿支店
- 駅 金沢(夕)
 - 駅 富山貨物・青海 ORS・速星
 - 駅 高岡貨物
 - 駅 南福井・敦賀港(新営)
 - 駅 大阪(夕)・吹田(夕)・百済(夕)・安治川口
和歌山(新営)・福知山 ORS
 - 駅 京都貨物
 - 駅 神戸(夕)
 - 駅 姫路貨物
 - 駅 岡山(夕)・東水島
 - 駅 湖山 ORS・東松江(新営)・伯耆大山
 - 駅 東福山
 - 駅 高松(夕)・新居浜・徳島 ORS・高知 ORS
伊予三島
 - 駅 松山貨物
 - 駅 広島(夕)
 - 駅 大竹・岩国
 - 駅 新南陽・防府貨物(新営)
 - 駅 宇部
 - 駅 下関
- 京都営業所
神戸営業所
姫路営業所
 - 岡山支店
米子営業所
福山営業所
 - 四国支店
 - 松山営業所
 - 広島支店
大竹営業所
山口営業所
宇部営業所
下関営業所

九州支社

- 九州北部支店
北九州営業所
鳥栖営業所
佐賀営業所
大分・宮崎営業所
 - 九州南部支店
鹿児島営業所
- 駅 福岡(夕)
 - 駅 北九州(夕)
 - 駅 鳥栖(夕)・大牟田 ORS
 - 駅 鍋島・有田 ORS・長崎 ORS
 - 駅 西大分・延岡・佐土原 ORS
 - 駅 熊本・八代
 - 駅 鹿児島(夕)・川内・都城 ORS

支店・営業所の連絡先はこちらをご覧ください。

コンテナラインナップ

鉄道コンテナには機能やサイズなど、様々なタイプがあります。
お客様のニーズに合わせてリースやレンタルのほか
私有コンテナとしてオーダーメイドも可能です。



12ft コンテナ

鉄道コンテナの主力は12ft(積載重量5トンまで)です。コンテナの内張板(ラワン合板)が貨物を保護し、貨物の固定用にラッシングフックを装備しています。



19D 両側二方開き



両側面が開く仕様です。フォークリフトによる荷役を効率的に行えます。保有個数が最も多い形式です。

19G 側妻二方開き



側面と妻面が両方開くタイプです。どちらからも荷役が可能です。より多様な貨物や荷役に対応しています。

V19B・V19C 通風コンテナ



コンテナ室内から開閉可能な通風装置が設置されており、室内の換気ができます。両側面が開くV19Cと、側面と妻面が開くV19Bの2種類があります。

20D・20G 背高コンテナ



従来のJRコンテナより100mm高い2,600mmとなり、かさ高貨物に対応できます。20Dは両側面が開き、20Gは側面と妻面が開きます。

31ft ウイングコンテナ※

31ft ウイングコンテナは、大型トラック(10トン)と同等の積載容量を持ちます。お客様の輸送単位や荷役作業を変更することなく、トラック輸送からのスムーズなモーダルシフトが可能となります。



ISO規格コンテナ※



CSC条約(安全なコンテナに関する国際条約)に基づく検査を受検し、安全が確認されたISO規格のコンテナは、鉄道で輸送することが可能です。ISO規格のコンテナは利便性と安全性が高いことが評価され、近年ご利用が増えています。

定温輸送コンテナ

冷凍コンテナ



コンテナ内の温度を一定に保ちます。+20℃から-25℃の範囲で0.5℃単位の温度設定が可能です。また、常温設定により寒冷地での貨物の凍結防止にも効果を発揮します。

冷蔵コンテナ



コンテナの内壁に高性能断熱材を使用しており、高い保冷(保温)性能を備えています。なお、真空断熱パネルを採用した「SUPER UR」(日本石油輸送の登録商標・写真右)は、さらに高い断熱性能を実現しています。

主要コンテナのサイズ

形式	外法寸法 (mm)			内法寸法 (mm)			妻入口 (mm)		側入口 (mm)		床面積 (m ²)	容積 (m ³)	積載重量 (t)	扉位置			保有個数
	高さ	幅	長さ	高さ	幅	長さ	高さ	幅	高さ	幅				片妻	片側	両側	
12ft コンテナ (一般用)																	
19D	2,500	2,450	3,715	2,254	2,275	3,647	—	—	2,187	3,635	8.3	18.7	5.0			○	23,930
19G	2,500	2,450	3,715	2,232	2,323	3,587	2,158	2,307	2,187	3,525	8.3	18.6	5.0	○	○		8,545
12ft 通風コンテナ (輸送中の内部換気が可能)																	
V19B	2,500	2,450	3,715	2,228	2,308	3,587	2,158	2,307	2,187	3,525	8.3	18.5	5.0	○	○		3,611
V19C	2,500	2,450	3,715	2,245	2,275	3,647	—	—	2,187	3,635	8.3	18.6	5.0			○	8,926
12ft 背高コンテナ																	
20D	2,600	2,450	3,715	2,352	2,275	3,647	—	—	2,287	3,635	8.3	19.5	5.0			○	10,681
20G	2,600	2,450	3,715	2,342	2,323	3,593	2,258	2,307	2,287	3,531	8.3	19.5	5.0	○	○		5,399
20ft コンテナ																	
30D	2,500	2,490	6,150	2,178	2,328	6,007	2,061	2,200	2,061	5,961	14.0	30.4	8.8	○		○	249
31ft ウイングコンテナ																	
48A	2,605	2,490	9,410	2,210	2,350	9,240	2,210	2,310	2,822	8,503	21.7	48.0	10.0	○		○	59
49A	2,605	2,490	9,410	2,237	2,350	9,240	2,210	2,310	2,822	8,503	21.7	48.6	10.0	○		○	80

※ 31ft コンテナ、ISO規格コンテナは積載可能な列車に制限があります。

2023年4月現在

コンテナへのパレットの積付け例

12ft コンテナへのパレット積付け例



(900×1100mm)8枚



(1100×1100mm)6枚



(1100×1400mm)4枚

31ft コンテナへのパレット積付け例



(1100×1100mm)16枚

貨物の偏積にご注意ください!

貨物は出来るだけ中央に積付けて、しっかりと養生してください。偏積があると思わぬ事故につながる可能性があります。



動画

『偏積による事故ゼロを目指して』



JR貨物グループの様々なサービス

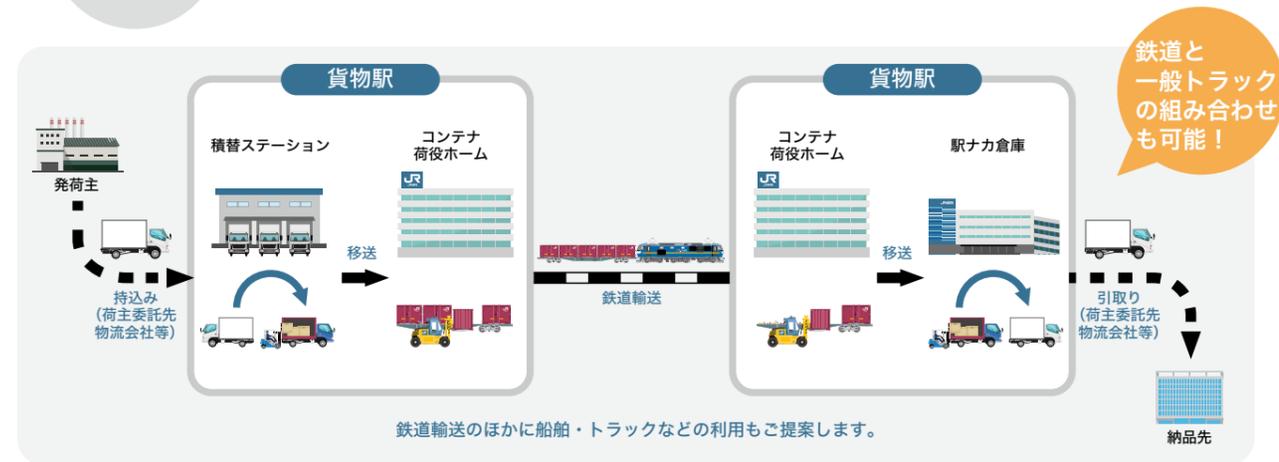
JR貨物グループの総合力により、様々な「物流プラットフォーム」をご提案できます。鉄道コンテナ輸送を軸に、より効率的な物流を実現します。

総合物流

物流結節点となる貨物駅の「駅ナカ」・「駅チカ」物流施設やJR貨物グループの各種物流機能を組み合わせて、最適な物流ソリューションを提供していきます。

総合物流サービス提供事例

一般のトラックで貨物駅に荷物を持込み、積替ステーションでコンテナへの積替えを行い、幹線を鉄道で輸送。着駅では、JR貨物グループ所有の駅ナカ物流施設へ移送し、倉庫へ保管することで、納品先様のご都合の良いタイミングで引取りを可能とする事例です。



国際物流

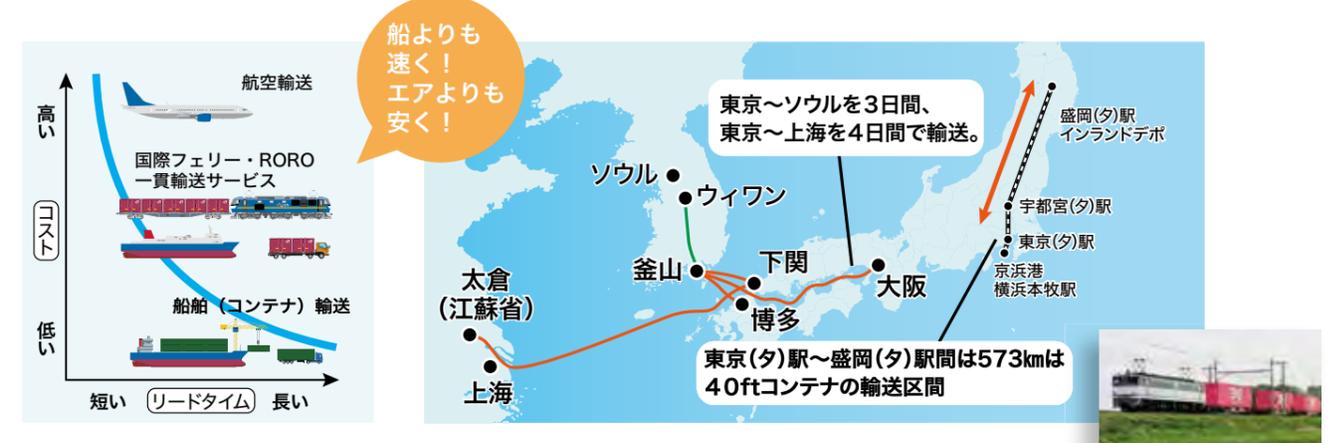
全国ネットワークを持つ鉄道コンテナ輸送は、国際物流との連携による複合輸送も行っています。

国際フェリー・RORO 一貫輸送サービス

日中・日韓を結ぶ国際輸送
鉄道とフェリーによる「国際複合一貫輸送」です。空輸に比べて安価となり、船舶に比べてリードタイムを短縮できます。

ダイレクト輸送サービス

全国の主要港からのドレージ輸送
ISO規格の国際海上コンテナ(40ft・20ft)をそのまま鉄道輸送へ。東京～盛岡を結ぶ東北線は40ftコンテナの輸送も可能です。20ftコンテナは主要都市への輸送が可能です。



「駅ナカ」・「駅チカ」物流施設

貨物駅構内の大型物流施設「レールゲート」、一般のトラックからコンテナへの荷物の積替えができる「積替ステーション」などの「駅ナカ」・「駅チカ」物流施設のご利用により集貨・配達距離を最小限におさえられるなど、鉄道へのモードシフトがスムーズとなります。

マルチテナント型物流施設「レールゲート」



積替ステーション



- ・積替え専用のエリアで天候に左右されず、安全な作業環境のもとご利用いただけます。
- ・お客様の自社トラックでも貨物駅へ持ち込めるため自社車両の有効活用が可能です。

パレットデポ



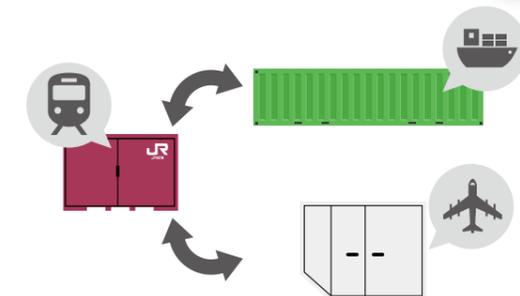
- ・貨物駅構内・貨物駅近隣施設でパレットの貸出・返却が可能です。
- ・パレット導入により荷役の負担軽減と荷役時間の削減、トラック・ドライバーの運用効率化がはかれます。

JR貨物グループ会社のアセット 倉庫拠点 15 拠点 (119 棟・412,039 m²) トラック 477 台 荷役機器 335 台

クロスドック輸送サービス

海上 / 航空貨物 ↔ JR コンテナ 積替輸送

貨物駅内または駅チカの積替施設で、海上貨物とJRコンテナとの積替輸送を、また、指定積替箇所にて国際航空貨物とJRコンテナとの積替輸送も行っています。全国のレールネットワークを活用して、輸出入貨物の輸送にも対応しています。



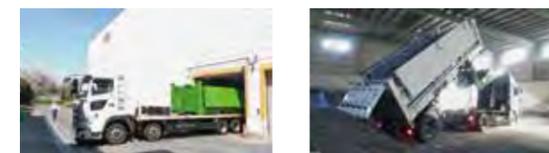
廃プラスチックも輸送しています

静脈物流

専用の鉄道コンテナにより、SDGs やカーボンニュートラルに取り組む企業や自治体向けに安全安心なリサイクル輸送などをご提供します。電子契約・電子マニフェストにも対応します。

焼却灰、下水汚泥等の輸送

清掃工場で発生する焼却灰や下水処理施設で発生する汚泥をリサイクルするため、セメント工場や熔融処理施設まで輸送します。専用の20ftコンテナ(天蓋付)を使用し、トラックと同様の積卸しが可能です。



清掃工場での積み込み 処理場でダンブアップ

水銀、汚染土壌等処理困難物の輸送

水銀含有廃棄物や特定有害物質の含まれる土壌などを、適正処理施設まで専用の12ftコンテナで運搬します。また、メーカー等の広域認定廃棄物のリサイクル輸送も行っています。



廃棄物専用12ftコンテナ 積載例(フレコンバック)